

募 金 趣 意 書

— 臓器移植を普及させるために —

晩夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

腎臓の働きが弱まった腎不全患者は、厳しい自己管理の必要な透析治療を受けて命を維持しなければなりません。現在唯一の治療法は腎臓移植であり、多くの患者がそれを待ち望んでいます。

わが国では、法律も出来、移植を待っているたくさんの人と、世界に負けない医療技術があるにもかかわらず、残念ながら移植はいっこうに進んでいません。その上、国の施策により国からの支援が無くなり、臓器移植推進財団の運営もままならず、県からの支援を今までよりさらに増やしてもらおうということも難しいのが現状です。

この度、臓器移植法改正案が12年の時を経て国会で審議され、臓器提供の年齢制限の撤廃や、本人の意思が不明でも家族の同意があれば提供ができるなど長期の人工透析を続ける患者にとって画期的な内容の法案成立となりました。この法案成立によって移植が進むことを願うと共に、一般の方々からのご支援とご協力がますます必要となっています。

石川県では、平成2年から臓器移植の啓発と臓器移植推進財団の基本金拡大のための「黄色い羽根募金運動」を続けてきました。「NPO法人日本黄色い羽根協会」が設立され、正式に全国へこの運動が広がり、7年目を迎えます。

つきましては、諸事ご多忙の折ではございますが、各位におかれましては、何卒、上記の趣旨をご理解の上、絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、9月1日より11月30日までを強化月間として募金活動を行います。

平成21年8月吉日

各 位

主催 (財)石川県臓器移植推進財団理事長

津川龍三

石川県腎友会会長

越野勝次

NPO法人日本黄色い羽根協会・石川

協力 石川県・県内各市町

(社)石川県医師会

後援 ライオンズクラブ国際協会

(社)石川県看護協会

